

事業評価書（事後評価）要旨

○ 政策評価の対象とした政策

インターネットによる京都御所等皇室関連施設の紹介（事業評価）

○ 政策の目的

京都事務所において管理する皇室関連施設の総合的なデータベースを構築し、各施設の詳細情報を充実させ、様々な情報を京都の御所と離宮のウェブサイトから広く国民に紹介することで、皇室文化に対する国民の理解と関心の促進を図る。

○ 政策評価の結果の概要

（必要性）

京都の御所と離宮のウェブサイトへのアクセス数を見てみると、公開から約10ヶ月で5,274,342回、直帰率約12%、再訪率30%となっており、閲覧者が複数のページを回遊し、リピーターも一定数存在している状態にある。

以上により、本事業は、その目的に照らして、必要性の高いものであるといえる。

（有効性）

アンケート結果によると、「使いやすさ」について、「とても使いやすい」・「使いやすい」との回答が、トップページ、《京都》御所と離宮の栞ページ及び年報ページで約7割、参観案内ページ及びキッズページについても好意的な意見が約6割であった。加えて、「皇室施設・皇室文化への理解」については、「とても深まった」・「深まった」との回答が、9割を超えた。

以上により、本事業は、その目的に照らして、有効性の高いものであるといえる。

（効率性）

京都の御所と離宮のウェブサイトの賃貸借及び保守の契約に当たっては、一般競争入札を実施し、経費の節減を図った。

また、画像や動画を用いて各財産を紹介することを主としているが、この更新についても3DやVRなどの高度な専門技術を要する撮影を除き、大半は職員が撮影、画像処理、公開処理を行い、コストをかけずに画像や動画の公開を行っている。

以上により、本事業は、その目的に照らして、効率性の高いものであるといえる。

（今後の課題）

アンケートの結果、京都の御所と離宮のウェブサイトの閲覧者は若年層が少ない傾向にあることが分かった。更に学識経験者からも積極的な情報発信の必要性が指摘されていることから、今後は幅広い層への認知度向上を目指し、SNSを含めた情報発信の強化を検討する。

また、アンケート調査の結果や学識経験者の意見では、更なる画像・動画公開や解説文（生育する樹木や開花状況等）の追加を求める意見が寄せられたことから、いただいた意見等を踏まえ、コンテンツの更なる充実を図りたい。